

エゾノコリンゴ

Malus baccata var. *mandshurica* バラ科 リンゴ属

エゾノコリンゴはバラ科、リンゴ属(*Malus* 属)の落葉小高木で、リンゴ属はヨーロッパからアジアに 21 種、北米に 9 種が分布しています。属名のマルス(*Malus*)はギリシャ語の malos(リンゴ)から来ていると言われています。リンゴ属は花の花柱(雌しべの中間部)が基部で癒合していることと、果肉中に石細胞がないか少ない点でナシ属(*Pyrus*)と区別されています。属の内容を大別すればカイドウ類、リンゴ類、ズミ類に分けられ、これらの野生種をもとに食用に供されるリンゴ類と観賞用に供されるカイドウ類、ズミ類がそれぞれ品種改良されてきました。

*M. baccata* var. *mandshurica*

エゾノコリンゴは本州中部以北、北海道、東北アジアに分布し、別名サンナシ、ヒロハオオズミとも呼ばれています。種小名 *baccata* は液果、変種名 *mandshurica* は満州産の意味です。若枝は初め軟毛があり、しばしば茎針が有ります。葉は楕円状卵形で、裂けず、細鋸歯縁(葉縁の細かい凹凸)で、両面に幼時の軟毛が花期まで残りますが、後に無毛となります。側脈(葉脈の細い部分)は5~6対、先端は直接鋸歯に入らず、葉柄は長さ1~3cm、軟毛があり、花後は長さ3~5cmで無毛となります。花は短枝の先端につき、開花期は5~6月、白色で、径3~3.5cm、花弁は長さ2~2.5cm、縁と内側に軟毛があります。小花柄(花を直接つける柄)は長さ3~4cmで、基部の若葉より長く抽出しています。花柱は5(まれに4個)で、中部以下に白軟毛を密生しています。果実は倒卵状球形、濃紅色に熟し萼裂片は早落性で、果頂に脱落痕があります。

*M. toringo*

エゾノコリンゴによく似た同属の落葉高木でズミ(*M. toringo*=*M. sieboldii*)が有ります。ズミは北海道から九州まで広く分布しているので、エゾノコリンゴより良く知られています。特に関東や中部地方でよく見かけます。ズミ、エゾノコリンゴ共に個体差が有って判別しにくい個体も有りますが、一般的にはエゾノコリンゴの葉が中裂しないのに対してズミは葉が3~5に中裂しているものが有ります。また、エゾノコリンゴはズミより花は淡く白色、花柄は長く、花の大きさはやや大きめです。若葉の出方もズミは2つ折りが出てきますが、エゾノコリンゴは巻いて出てくる違いが有ります。

リンゴ属の中で古くから観賞用として利用されて来たものに原産地不明のハナカイドウ(*M. halliana*)、中国原産のカイドウ(*M. micromalus*)が有ります。中国では古くから庭園花木として利用されていました。日本では江戸時代に渡来したと言われています。ハナカイドウは4~6cmの長い花柄を持つため、枝垂れ咲きになることから「垂糸海棠」とも呼ばれています。ハナカイドウは花が淡紅色で鮮やかなだけでなく、葉に光沢が有り、樹冠も明るい褐色で観賞価値が高く、数々の園芸品種が作出されて来ました。カイドウもまた果実の鮮やかな紅色が喜ばれ盆栽などに広く利用されています。(T.K.)

*M. halliana*

5月の園芸

このコーナーの園芸作業は札幌地方での目安です。ここに掲載した以外の作業もたくさんありますので、ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問い合わせください。

緑の相談受付	10:00～12:00、13:00～16:00
☆豊平公園	811-9370 月曜以外毎日
☆百合が原公園	772-3511 木、日曜日
☆平岡樹芸センター	883-2891 水、土曜日

◆盆栽

日増しに陽光も強まり気温も上昇してくるこの時期が、盆栽にとってとても大切なときです。

整枝剪定・針金かけ

既にこの作業は終えていることと思いますが、もしまだ済んでいない場合は、越冬中に折れた枝、枯れた枝、混んでいる枝や忌み枝などは剪定し、針金をかけて樹形を整えましょう。

植え替え

ほとんどの盆栽は今は植え替えの適期です。最後に植え替えてから、早いもので2～3年、長くても4～5年を経過したものは植え替えましょう。雑木類は早めに、松柏類はいくぶん遅めに行います。小品盆栽やミニ盆栽は早めに、できれば毎年植え替えると生育が良いようです。

用土は赤玉土、鹿沼土、火山レキなどの微塵を取り除き大中小に篩い分けし、樹種に合ったものを単用あるいは適当な割合で混合したものを用います。若木には大きめ、成木には小さめ、鉢の小さいものには小さい粒の用土を使います。植え替え後しばらくの間は強い日光や風が当たらない場所で管理します。

置き場所

植え替えたものや日差しに弱いものを除き、この時期はできるだけ日の当たる場所で管理しましょう。

水やり

この時期は晴天の日には毎日、ものによっては一日に2回、十分に灌水します。灌水は早朝、または夕方に行い、一度水をかけて数分後にもう一度かけると鉢の内部まで浸透するので水切れをおこしにくくなります。

施肥

室だし後、目覚め肥えとして軽く液肥を施したものもあるかと思いますが、今の時期には本格的に肥料を与えます。最初に液肥を与えた後、固形肥料(置き肥)を与えます。始めから固形肥料を与えることもあります。固形肥料は熟成油粕が良く、鉢の大きさに応じて粒サイズ(大中小)を使い分けます。肥効期間はおよそ50～70日ほどです。

芽掻き 芽摘み 芽切り 葉刈り 葉抜き

これらの、盆栽作業でもっとも大切な作業もそろそろ始まる頃ですが、詳しくは次号に掲載します。

◆シクラメン底面給水鉢の花後管理

開花中の管理

底面給水鉢のシクラメンは、購入後の水やりなど管理が楽で、初めての人でも失敗が少なく助かります。しかし、花の終わる春頃になると株の元気がなくなったり新しい葉の出が悪く外側の葉からどんどん枯れてきたりした経験はありませんか。

鉢植えでは根が限られた範囲で生育を続けていて、シクラメンの根は鉢の中のみで呼吸(ガス交換)しています。底面からの給水を続けると酸素の補給や炭酸ガスの排出がスムーズに行われず根は傷んで根腐れ状態になります。栽培中は月に1～2度鉢上から灌水してガス交換をしなければなりません。

植え替え

底面給水仕様の鉢は、不織布(ヒモ)を使って(鉢底に突起を付けたものもある)鉢底から給水させる仕組みになっていて、給水しやすいように植え込み用土も繊維質の多い材料(ピートモスなど)が使われています。これは、生産段階で灌水作業の省力化のために工夫された方法なので、購入後、このまま長期間管理するのは生理的に限界があります。花が終わったら早速普通鉢(1号大きめのプラ鉢など)に植え替えをしましょう。植え替え用土も一般の配合用土に替えます。植え込みの時株の下に緩効性化成肥料(マグアンプ K3～5g/1リットル土)に施しておく効果的です。

【用土例】 赤玉土 5: 腐葉土 3: 火山礫 2



花後の底面給水鉢



根鉢の古い土 1/3 ほど掻き取る



同じか一回り(1号)大きな鉢に植える

◆ Q & A ◆

Q

毎年 5 月に入ると、蕾の沢山ついた鉢植えのカーネーションを手にすることがありますが、あまりよく咲きません。上手な咲かせ方がありますか。また、咲き終わった株はどうしたらよいでしょうか。(厚別区 H さん)

A

5 月の第二日曜日は母の日。母の愛に感謝して贈られるカーネーションは、鉢物として楽しめる洋花の代表花ですね。カーネーションには一季咲きのものと四季咲きのものがあり、最近市販されているわい性小輪咲きの鉢花用の品種はほとんどが四季咲き性です。

鉢植え開花株の一般的な管理は風通しのよい、明るいところに置きます。水をやるときは、花にかからないように鉢縁に沿って、鉢中に流し込みます。開花中は肥料は与えません。咲き終わった花がらはこまめにとり除きます。このとき、花がらだけつみとるのではなく、花茎ごと次の節まで切りとります。花がらをそのままにしておくと、腐ったりして灰色かび病が発生したりします。花びらに白い斑点が出たらスリップスやハダニといった虫が発生しています。次の花にうつらないよう早めに殺虫剤を散布して駆除します。

このような管理をしても、びっしり着いた蕾がすべて咲くことはほとんどありません。栽培生産者がホルモン剤処理をして過度に着蕾させるからです。実際には着いた蕾の 50～70 パーセント咲けば上々です。また、咲き切らないのは乾燥(湿度不足)が原因します。このような場合、できるだけこまめに霧吹きをするか、ときには使用後の浴室(湯気で湿度が高い)に翌朝まで置いてみるのも一つの方法です。

咲き終わった株は秋ごろか、翌春には咲かせることができます。最後の花が咲き終わったら、茎を二分の一程度まで切り戻して、ひとまわり大きな鉢に水はけのよい肥沃な用土で植えかえます。また、咲き終わった株は庭に露地植えするのもよいでしょう。

こうしておくとうき芽が伸びて2番花が楽しめます。2番花が咲き終わったら2回目の切り戻しをしますが、このときは植えかえる必要はありません。肥料は 10 日に1回、1000 倍に薄めた液肥を与えます。切った茎は挿し木をして株の再生ができます。

5月～6月上旬の催しのお知らせ

豊平公園緑のセンター 豊平区豊平5条13丁目 TEL 811-6568

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
園芸教室				
春のミニ盆栽を作ろう	6/8（日）	13:30～	5/11～	2,500 円
花・野菜・庭木の病害虫防除	6/11（水）	〃	〃	無料
展示会				
アジサイ展	5/13（火）～25（日）			
現代押し花アート展	5/13（火）～18（日）		日本レミコ押し花学院	
山野草展	5/30（金）～6/1（日）		北海道山草会	
春の小品盆栽展	6/6（金）～8（日）		札幌小品盆栽会	
バラエティ盆栽展	6/6（金）～8（日）		札幌盆栽会	
斑入り植物展	6/7（土）～8（日）		斑入り愛好会	
コチョウラン植え替えサービス （完全予約制）	6/1（日） ご自宅のコチョウランをご持参いただき植え替えの実演をいたします。（参加費無料 ただし材料費がかかります）			
自然観察会				
春の観察会	5/24（土）	10:00～	5/11～	無料
クラフト講習会				
アレンジ押し花講習会 「爪楊枝入れ」	5/16（金）	10:00～	5/11～	1,500 円
現代押し花アート講習会 「クリスタルスタンド」	5/16（金）	〃	〃	1,000 円
あけび工房講習会 初級編 「バスケット作り」	5/28（水）	〃	〃	2,500 円
あけび工房講習会 上級編 「鉢力バー」	5/28（水）	13:30～	〃	2,500 円
ボタニカルアート講座 全 10 回	4/25～9/12 第 2、4 金曜日 随時受付中 （詳しくはお問い合わせください）			
花の押し方講座 全 4 回	5/29、6/5、6/12、6/19 お申込は 5/11 から 参加費用：4 回で 7,000 円			

百合が原緑のセンター 北区百合が原公園210 TEL 772-3511 <http://www.sapporo-park.or.jp/yuri/>

講習会 内容	日	時間	申込開始	費用・備考
母の日の贈り物物寄せ植え	5/4 (日) 5/8 (木)	10:00～	4/11～	630 円＋材料費
親子で作る母の日の贈り物(こども対象)	5/11 (日)	10:00～	"	"
リース型の容器の寄せ植え	5/14 (水)	10:00～	"	"
野菜・ハーブを使って	5/18 (日) 5/21 (水)	10:00～	随時	"
壁掛けバスケットの基本	5/28 (水) 6/1 (日)	10:00～	"	"
鳥かごに寄せ植え	6/4 (水) 6/8 (日)	10:00～	"	"
草物盆栽の育て方	5/24 (土)	13:30～	5/11～	200 円
ライラック他花木の観察と講習	5/31 (土)	13:30～	"	200 円
展示会		日	料金	
セントポーリア展	4/29 (祝) ～5/6 (火)		130 円	
キッチンガーデン展	5/8 (木) ～18 (日)		"	
草物盆栽展	5/23 (金) ～25 (日)		"	
ハンギングバスケット展	6/10 (火) ～15 (日)		"	

平岡樹芸センター 清田区平岡4条3丁目 TEL 883-2891

講習会 内容	日	時間	申込開始	費用・備考
芝生の庭作り	5/5 (祝)	13:30～	4/11～	無料
ツツジ等 花灌木の剪定	5/18 (日)	10:00～ 13:30～	5/11～	"
庭木の病害虫防除	5/25 (日)	13:30～	"	"
マツ類の緑摘み	6/7 (土)	10:00～	"	"
展示会		日	料金	
あけびクラフト展 【かごのある暮らし】	4/29 (祝) ～6/4 (水)		無料	
展示会		日	料金	
アレンジ押し花講習会 「爪楊枝入れ」	5/15 (木)	10:00～	5/11～	1,500 円
サプライズフラワーアレンジ教室	6/5 (木)	10:00～	"	2,500 円
あけび工房講習会 「プランター」	6/4 (水)	10:30～	"	2,500 円

豊平公園 緑のセンター 公式ウェブサイト <http://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>